

(1)生徒の体力の現状

○1年生男子は、上体起こし、50m走、ハンドボール投げが上回っている。2年生男子は、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、ハンドボール投げの5種目が県平均、全国平均ともに上回っている。3年生男子は50m走が上回っている。

○1年生女子は、上体起こし、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳びが上回っている。2年生女子は、握力、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの7種目が県平均、全国平均を上回っている。3年生女子は、50m走が上回っている。

●1年生男子は、握力、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳びが下回っている。2年生男子は、握力、上体起こし、立ち幅跳びがわずかに下回り、50m走が全国平均は上回ったが県平均をわずかに下回っている。3年生男子は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ハンドボール投げが下回っている。

●1年生女子は、握力、長座体前屈、ハンドボール投げが下回っている。2年生女子は、上体起こしが全国平均を下回っているが、県平均は上回っている。3年生女子は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ハンドボール投げが下回っている。

(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

○2年生男女とも県平均と全国平均を上回った種目が増加し、取組の成果が現れたと思われる。

○5分間走、腕立て伏せ、腹筋、背筋、馬跳び、柔軟体操など体育の授業での体力づくりがきっかけとなり、効果が現れたものと考える。1年生2年生に対して来年度も継続した取組を行い、全国平均、県平均を上回る種目が多くなるよう実践していきたい。

●下回っている種目についての、継続した取組を行うことが課題である。

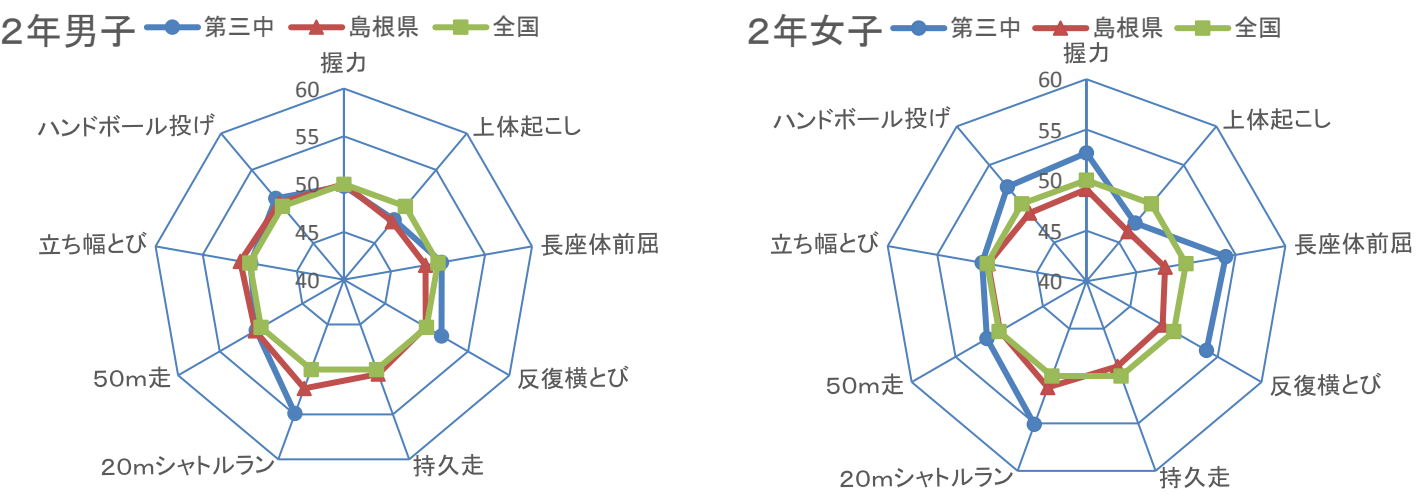
●各単元の特性を生かした体力づくりの内容をさらに検討し、実施可能なものをしていくことが必要である。

(3)31年度の取組【対策】

- ①学校における取組
- ・体育の授業における体力づくり運動の継続
 - ・体育の授業における「めあて」と「振り返り」の明確化
 - ・部活動の充実
 - ・小学校との連携
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・部活動の充実
 - ・メディアコントロールウィークを通して規則正しい生活習慣の確立
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・体育の授業で自分の体力の現状を知り、自ら進んで体力づくり運動を行おうとする態度の育成
 - ・給食指導の充実と家庭との連携

調査実施者数(人) 1年(男子32・女子38) 2年(男子57・女子33) 3年(男子45・女子40)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

